概要

ウィキペディアのオンプレミスソフトウェアの[定義](http://en.wikipedia.org/wiki/On-premises_software):

***「オンプレミスソフトウェア****は、インターネット上のどこかにあるサーバーファームやクラウドなど、リモートの施設ではなく、本ソフトウェアを使用する人や組織の構内(建物内)のコンピュータにインストールされ、実行されます。....ビジネス ソフトウェアの導入と使用に対するオンプレミスのアプローチは、遠隔地で実行されているソフトウェアが広く利用できるようになり、採用された 2005 年頃まで最も一般的でした。新しい代替展開と使用モデルは、通常、インターネットを使用してユーザーがオンプレミスにソフトウェアをインストールする必要をなくし、他の付随する利点がありました: ソフトウェアをリモートで実行すると、人員配置、メンテナンス、電力消費などの要因が減少するため、大幅なコスト削減が可能です。*

従来のオンプレミス ソリューションよりもクラウド ソフトウェアには多くの利点があります。次の点を考慮してください。

IT の節約

企業がクラウドを採用する最も魅力的なインセンティブは、社内ITコストの削減です。そして、節約はソフトウェアライセンスのためだけではありません。ハードウェアおよび人件費のインストールとメンテナンスの設備コストは、ほとんどの企業のソフトウェア ライセンス コストをはるかに上回っています。このインセンティブは、主な業務が IT ではない企業にとって特に魅力的です。

規模の経済

クラウド プロバイダーは、特殊化と規模の経済を通じて、ソフトウェア開発と展開のコストを削減できます。顧客ごとのソフトウェアのコストが低いため、クラウドプロバイダーは、コストが高いためにソフトウェアを採用していない可能性のあるより多くの顧客にリーチすることができます。

柔軟性

クラウドアプリケーションの開始には、契約に署名し、サブスクリプション料金を支払うことと、ソフトウェア取得の巨額の1回限りの手数料を支払う必要があります。バックアウトは、サブスクリプションを終了することで同様に痛みを伴わない。企業は、もはや使用できないインフラストラクチャの資本損失を残していません。それは時間とお金の大幅な損失なしに大胆に新しい技術に投資することができます。

最適化されたソリューション

クラウドプロバイダーは、ソフトウェアソリューションを自由に設計し、ハードウェア、オペレーティングシステム、ネットワーキングなど、すべてのコンポーネントを選択して最適な結果を得ることができます。従来のソフトウェア ベンダーのように、従来のハードウェア、オペレーティング システム、プロトコルとの下位互換性などのソフトウェア配布の問題について心配する必要はありません。ソフトウェアは、環境に合わせて調整するだけで済みます。これにより、ソフトウェア開発ライフサイクルの予測可能性が高まり、ソフトウェアのアップグレードの迅速な配布と市場投入までの時間の短縮が可能になります。

無料アップグレード

ソフトウェアのアップグレードは、企業にとって高価な作業です。計画とオーケストレーションの数ヶ月は、予期せぬ不具合のために苦労する可能性があります。また、企業のポリシーや製品のライフサイクルの終了にもかかわらず、レガシーソフトウェアは企業で生き残っています。クラウドでは、レガシーソフトウェアはなく、ソフトウェアのアップグレードは自動的に行われます。

クラウドの利点

クラウド アプリケーションは Web 経由で配信されます。このアプローチは、クラウドの採用に大きな革命を起こします。

1. エンド ユーザーが必要とするのは Web ブラウザーとインターネット接続なので、クラウド アプリケーションはよりアクセスしやすく、使いやすくなります。企業は、ソフトウェア アプリケーションの利点を、より広範なユーザー ベースで共有できるようになりました。
2. ソフトウェアアプリケーションは、貴重な開発とQAサイクルを節約するエンドユーザープラットフォームに依存するようになります。
3. Web サービス モデルとインフラストラクチャの成熟度は、サービスの信頼性と堅牢性を高めます。
4. AJAX、CSS、XMLなどのWebサービス標準は、より良いユーザーエクスペリエンス、プレゼンテーション、サードパーティ製品との統合を促進します。

改善されたメトリック

ソフトウェア・アプリケーションをIT資産からオペレーション資産に移行することで、成熟したオペレーションのメトリック・パラダイムをソフトウェア・アプリケーションに適用できるようになりました。ソフトウェアの問題は、もはや謎のエンドユーザーの問題のせいにすることはできません。可用性やパフォーマンスなどの定量可能なメトリックの観点から、容易に監視および測定できます。お客様は、これらのサービスメトリックを使用して、ソフトウェア・アプリケーション・プロバイダーを測定し、SLAを通じてより良いサービス・レベルを要求することができます。また、サービスメトリックを使用して従業員の生産性を測定することもできます。

より少ないよりよいソフトウェア

ソフトウェア ソリューションのお客様は、予算の制限や社内の専門知識が不足しているため、ソフトウェアの高度な機能を構成するために、ソフトウェアの低レベルのソフトウェアを使用する場合があります。クラウドソリューションを使用すると、これらの顧客は、より高い効率に変換することができ、低価格で、よりシンプルなインターフェイスで洗練された機能にアクセスできます。

詳細については、お気軽にお問い合[わせください security@coupa.com](mailto:security@coupa.com).